

DVDの作成

Fundamentals of the Development and Use of DVD Materials

Fumihiko SHINOHARA
Tokyo Gakugei University

Prepared and Presented for Plenary Session at JICA Project in Mongolia,
Nukht, Ulaanbaatar, Mongolia
12 September 2008

DVDとは何か

- Digital Versatile Disc(デジタル ヴァーサタイル ディスク、Versatile=多用途の)のこと(DVDフォーラム)。
- DVDがDigital Video Discの略称であるということは正式には間違い。
- CR-ROMと同じ直径12cmの大きさで、片面4.7GBの大容量。
- 従来の映像記憶媒体であるビデオテープから「V」と言えば「Video」を連想すること、ビデオテープのランダムアクセスの可能性など開発に至った経緯などから、Digital Video Discも俗称として限定的に使用される。
- 現在、一般的に「DVD」という場合は、DVD-Videoを指すことが多い。
- 文字情報の文書はもちろんのこと、jpeg、mpegやMP3、MP4など精細さを追求した画像、映像、音声等大容量のファイルを収めたデータディスクを扱える製品も多く発売されている(例えば、大容量USBメモリー、大容量ポータブルHD、Blu-ray Disk、Web共有空間)。
- 年々、“Digital Versatile Disc”の方の意味合いが強くなって来ている。

DVDに

何を、どのように、保存するか

- 多様な形式の情報を関連性をもたせて大量に保存し、DVD単体でもネットワークに接続してでも、活用できるように構成、構造化する。
 - 文書、画像、動画(含、アニメーション)、音声による仮想空間、仮想博物館、仮想図書館の構築
 - 子供の発達段階、教師の力量、地域との関連
- 「思考を拓げる」こと、あるいは、「結果よりも学習の過程＝道筋の過程を学ぶこと」に、世界の「学習」に対する考え方の流れは移ってきている(創造性育成の一つとしての「拡散的思考」。一方で「集中的思考」がある)。
 - 個性に応じた教育、創造性の育成と涵養
 - V: マルチメディアが開く教育1(1Min12Sec)(知識詰め込みから、学び取る道筋の学習)・・・「子供」を「教師」と聞き変えて視聴
 - V: マルチメディアが開く教育2(3min)(比較、関連、図ではなく映像で、別の情報表現で確認、自分の情報、整理、噛み砕きオリジナルな知識として吸収、自分の言葉で表現、学習効果はまちまち、個性が作り上げた学習＝21世紀の新たな学習能力、創造性)

DVDコンテンツの構成法

- 関連する文書、画像、動画(含、video、アニメーション)、音声、URLを、授業環境(地域、学校)、学習者特性、学習者の発達段階に応じて、注意深く収集し、「縦横無尽」に**関連付け**ておく(**リンク**を張る)。
 - 参考：
 - コンテンツの源
 - ボタンリンク様式によるDVD内の資料の関連付け
 - URLの埋め込みによるDVDの外の資料との関連付け
- 特に、関連するVideo資料制作の大原則
 - 1番組(1クリップ)あたり最大15分程度(それ以上は、飽きる)
 - Videoのテーマ、構成、伝えたい教育内容・方法などは、映像制作のプロと教師で、詳細に協議。ただし、教育内容と方法に関する映像の選択・指定、ナレーション内容の主導権は、教師。
 - Videoの撮影、編集については、映像制作のプロに、任せる。